

企業変革を促すための今後のアクションの方向性（案）

持続的な企業価値の向上と人的資本に関する研究会
令和2年7月

本研究会で議論してきた議論については、報告書のとりまとめに加え、企業における変革に向けた取組をさらに促進し、深化させる観点から、今後のアクションの方向性についても以下のとおりとりまとめる。

（1）人材戦略の変革に向けた国内外における機運醸成

- ・ 人材戦略の変革に向けて、先導的に取り組む国内外の企業や、人材戦略に関心の高い機関投資家や有識者を巻き込みながら発信を行い、企業の変革に向けた機運を醸成してはどうか。

（2）人材戦略に関する取締役会の役割の明確化

- ・ 持続的な企業価値の向上における人材戦略の重要性を踏まえ、例えば、取締役会において経営戦略上も鍵となる人材戦略の重要項目やKPI などについて適切にモニタリングすべきである旨を明確化してはどうか。

（3）人材戦略に関する企業と投資家の対話の促進

- ・ 人材戦略に関する企業の発信、企業－投資家間の対話を促進する観点から、例えば統合報告書において企業が人材戦略について発信している好事例の整理や共通の要素等の整理のほか、TCFD コンソーシアムなども参考に、企業トップと機関投資家による人材戦略に関する対話の場の構築を行ってはどうか。

（4）先進的な取組を行う企業のインセンティブ設計

- ・ 企業の人材戦略の変革を促進させる観点から、例えば人材戦略に基づき多様な個人が活躍している企業の調査分析（人材活躍度調査（仮称））を実施して、先進的な取組を行う企業の選定などを行い、労働市場や資本市場に対して発信してはどうか。